

さんのへ 議会だより



雨ニモマケズ! (7/18 ~ 20 子ども会わくわくキャンプ)
新郷村間木ノ平グリーンパーク

第165号

平成27年8月18日発行

青森県三戸町議会

マイナンバー通知スタート	2
4議員が一般質問	4
常任委員会の活動報告	8
議員研修 三村知事、重点施策語る	10

本年10月より マイナンバー通知スタート

第461回定例会を平成27年6月12日から6月17日にかけて開き、人事案1件をはじめ全12件について審議し、すべて可決しました。

平成27年10月から、町民の皆さま一人一人に12桁のマイナンバー(個人番号)が通知されます

- ・町から、住民票の住所に通知カードが送付されます。
- ・通知カードを受け取られた方は、同封された申請書を郵送すること等により、役場の窓口で「個人番号カード」の交付を受けることができます。

平成28年1月から、マイナンバーは社会保障、税、災害対策の行政手続で利用します

- ・年金、雇用保険、医療保険の手続、生活保護や福祉の給付、確定申告などの税の手続など、法律で定められた事務に限って、マイナンバーが利用されます。
- ・民間事業者でも、社会保障、源泉徴収事務など法律で定められた範囲に限り、マイナンバーを取り扱います。

法律で定められた目的以外でマイナンバーを利用したり、他人に提供したりすることはできません

- ・他人のマイナンバーを不正に入手したり、正当な理由なく提供したりすると、処罰されることがあります。
- ・マイナンバーと結びついた個人情報保護するため、さまざまな対策をとります。

マイナンバーは一生使うものです。 大切にしてください。

議案と質疑

平成27年度一般会計
補正予算
1億5797万円の減

- ・マイナンバー法に伴う総合行政情報システム導入費 1538万円の増
- ・マイナンバー通知事務負担金 393万円の増
- ・年度内に着手困難となった認定こども園整備事業補助金 1億8015万円の減

質疑

マイナンバーセキュリティ万全か

山口議員
年金の情報漏れ問題があるが、マイナンバーシステムのセキュリティ対策は万全か。また、町民にメリットはあるのか。

総務課長

年金の情報漏えいは、一般業務用コンピュータから漏えいしたものであるが、マイナンバーのデータ通信については、国が管理

する専用回線のため、インターネットには接続されず、通信の際はデータが暗号化されるなど万全な対策がとられている。また、町民のメリットとして、行政手続が簡素化され、添付書類の削減など負担が軽減される。

質疑

認定こども園の現状は

大向議員
認定こども園の進め方が情報として伝わっていない。説明を。

住民福祉課長

民間の学校法人から認定こども園への移行について、諸般の事情により延期したいという申し出があり、今年度新たに委嘱した子ども・子育て支援委員に、子ども・子育て支援計画における認定こども園の位置づけ等、事業計画実施時期について審議していただく。また、会議において、意見の吸い上げが不十分であるという意見に対

し、会議の進め方を改める。

質疑

補助金の詳細を

澤田(道)議員
野菜等生産力強化対策事業補助金について、詳しい説明を。

農林課長

ニンニクの作業省力化のための乗用防除機1台、ネギの作業省力化のためのネギ収穫機1台に対する補助金である。



これから収穫期を迎えるネギ畑

町民プール建設工事契約
請負者 株式会社大山建工
契約額 1億9224万円

・小中一貫三戸学園の駐車場西側に、6コース、25メートルを建設する。

質疑

段差がないよう

考慮を

山口議員

工事の場合、あとから追加補充などが出てくるので、十分吟味を。また、段差があるといけないが、スロープ方式にするなどの対応を。

教育委員会局長

あと工事が無いよう十分配慮し、工事の進行状況を見ていく。また、プールの玄関には段差があるが、スロープも設けている。玄関口とか段差が必要なものについては、高さを抑え、出入りに困難が無いよう配慮する。

質疑
町の負担分は

坂本議員

事故のないよう十分配慮を。最高入札価格はいくらか。また、三戸学園の総事業費はいくらで、町の持ち出しはいくらか。

教育委員会局長

最高入札価格は2億2000万円である。また、総事業費は35億762万円、町の持ち出しが4億945万円である。



町民プール建設場所

国保条例の改正
(専決処分)

・国民健康保険税の課税限度額を4万円引き上げ、85万円とする。

・5割軽減及び2割軽減の対象世帯を拡大。

質疑

納付状況の
引き上げ努力は

大向議員

課税限度額が引き上げられることで、納税者の負担が増加している。納付状況を引き上げるための努力は。

税務課長

納付状況の改善を図るため、納付回数を8回に増やすことで対処している。

質疑

減額による
国からの補てんは

佐々木議員

国のルールに従った改正であるが、軽減による税収減額は、国から補てんされるという認識でよいか。

また、ルールを超えた町単独による軽減分については、補てんされないということでしょうか。

税務課長

ルールに従った軽減分は国から補てんされるが、町単独での軽減分は補てんされない。

介護保険条例の改正

・平成27年度及び平成28年度において、第1号被保険者の第1段階に係る介護保険料の保険料率を下げ、4万2300円に減額する。

質疑

減額による
順位の変動は

日ノ澤議員

保険料率が変わり、4万2300円に減額されることにより、介護保険料の全国や県内の順位は変わるのか。

健康推進課長

第1段階の保険料率が下がることによって、順位は変わることはない。

**三戸中央病院事業の設置
条例の改正**

・一般病床111床、療養病床33床にする。

質疑

療養病床の説明を

坂本議員

医療療養病床について説明を。

病院事務長

医療療養病床への入院は、病名、病状の制限があり、3カ月を限度としている。

質疑

どこが許可を出す？

佐々木議員

一般病床に戻すと収益が見込めなくなった場合、許可を出すのはどこか。

病院事務長

県と東北厚生局が相談し、国の方針によることになる。

その他の議案

・町職員の給与条例の改正 (専決処分)

・町税条例の改正 (専決処分)

・過疎地域における固定資産税の特別措置条例の改正 (専決処分)

・青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び規約の変更について

・青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び規約の変更について

・平成27年度三戸中央病院会計補正予算 (病院事業費用111万円の減)

・人権擁護委員の推薦への同意



工藤 茂夫 氏

一般質問

第461回定例会における一般質問に議員4人が登壇し、町の施策について質問しました。

(町ホームページ内で動画配信しています。ぜひご覧ください。)

山口 菊男



基幹産業である農業

6次産業化の取り組みを

竹原町長
農商工業者のノウハウを活用した商品づくりを支援していく

Q

- ① 生産から販売までを一貫して手がける6次産業化の現状と今後の取り組みは。
- ② 当町における農地中間管理機構の現状と今後の取り組みは。
- ③ 日本型直接支払制度について、農家への対応は。
- ④ 集落営農の現状と今後の取り組みは。
- ⑤ 飼料用米に対する取り組みは。
- ⑥ グリーンツーリズムの推進を。

A

竹原町長
① 商工会では、リングジュースなどの加工品を「さんのへ逸品」に認定し、6次産業への取り組みを進めている。町においても農商工業者のノウハウを活用した商品づくりを支援していく。6次産業化に必要なのは、熱意や意識であ



農家が育てた野菜や果物を販売している「SAN・SUN 産直ひろば」

り、難しい分野についてはバックアップしていく。

② 農地の借受希望者は8人、貸付希望者は5人であるが、貸借契約に至っていない。認定農業者などに制度のPRをしていきたい。

③ これまで制度説明会を開催しており、今後も機会をとらえ、また、広報等を活用して周知に努める。

④ 現在、集落営農を組織している地域はないが、中山間地域を中心に農業機械の共同利用等が行われているため、組織の立ち上げは可能。組織化には、農地などの集約のほか、地域の意見集約が重要であるため、まずは地域の話し合いから支援していく。

⑤ 平成27年度からJA全農が全量買い付けとなった。作付段階で収入が見通せることから、飼料用米の作付を推奨している。

⑥ 農業体験は発展できる分野である。農家への説明会等を開いているので、働きかけを強めていきたい。

「認定農業者」

意欲と能力のある農業者が自らの経営を計画的に改善するため、「農業経営改善計画」を作成し、町が認定する制度。認定農業者は、国、県、町からさまざまな支援が受けられる。

魅力と希望がある

林業へ

Q

林業の生産を担う労働力が減少しており、経営、生産の視点から大きな課題を抱えている。

① 森林に対する認識と今後の取り組みは。

② 林業従事者を確保し、魅力と希望と意欲を持てる産業にする取り組みは。

A

竹原町長

① 町の森林面積は総面積の3分の2を占め、恩恵をもたらす重要な資源であり、財産である。民有林については、三八地方森林組合と連携し、町有林については、森林経営計画を策定し、適切に維持管理していく。

② 県では若い世代が森林へ関心を深めるような施策を行い、町では森林組合と連携を図り、県産材の利用促進、労働力の確保に努めていく。

町道拡幅計画

その後は

Q

栄町の町道拡幅計画のその後はどのようなか。

A

竹原町長

現地調査の結果、道路改良が必要と判断したため、道路整備計画の優先順位等を考え、実施に向け検討していく。



町道泉山沢田ノ沢線



パークゴルフ場の必要性 具体的にPRを

竹原町長 健康増進や観光振興への効果など
機会をとらえPRしている

- Q** パークゴルフ場が秋完成予定である。
- ① 介護保険料が高い三戸町にとって、医療費を抑制するための計画であると説明しているが、その根拠は示していない。パークゴルフ場の必要性は。
 - ② 人口減少の中、町民1人当たり3万3000円強
 - ③ 平成25年から3年経過しているが、パークゴルフに関してPRできないのはなぜ。
 - ④ パークゴルフ場が完成しても、宿泊施設がなく、少ない飲食店を活用するシステムになっていない。どう考えるか。



整備が進むパークゴルフ場

A 竹原町長

- ① パークゴルフは、子どもから高齢者までが気軽に楽しめ、青空のもと有酸素運動をするスポーツである。その結果、健康増進が図られ、中長期的には医療費等が削減できると考えている。また、道の駅などを起点とする観光振興といった複合的な効果が見込める。町民一人一人が健康を維持することに役立つ施設になるよう努めている。
- ② 健康増進のみを目的としているのではなく、人口減少対策など広範囲に町のメリットを考えている。
- ③ 集会や総会に招待されたときなど、さまざまな機会をとらえて、パークゴルフ場を建設するという話をしている。
- ④ 全ての分野を町が行うというのは不可能である。町は方向性を示しているため、あとは商工会や観光協会の関係者、町民が最大限の効果を上げる取り組みをしていただきたい。

三戸中央病院 運営改善を

Q 外来患者が減少傾向にあり、経営不安の声がある。待ち時間、医師の対応などの苦情が改善されない理由は。また、そういった声を三病だよりで紹介しては。



三戸中央病院待合室のようす

過酷な勤務により、患者を思う心が薄らぐこともあったかもしれない。経営状況に悪影響を与えないよう、引き続き指導していく。病院利用者からのご意見等の改善結果は、三病だよりへ掲載してきたが、寄せられた声を真摯に受けとめ、対応していく。

緊急支援交付金 早めの対応を

Q 地域住民生活等緊急支援交付金について、3月定例会で可決してから10月の事業公表まで半年以上もかかるのでは、町民や関係者の意欲をそぐ早くすべきでは。

A 竹原町長

事業の本格的な実施に向け鋭意準備を進めている。住宅リフォーム支援事業については、募集を開始しており、商品券発行事業については、商工会と協議し、8月発行を予定している。

A 竹原町長

予約診療開始当初は、診療開始時間が予約できるという誤解による苦情があったが、少しずつご理解をいただいている。医師の対応についても、少人数での

一般質問

澤田 道憲



生活の必需品である携帯電話

不感地域の解消を

竹原町長

通信事業者の参加が不可欠であるため要望していく



平成 26 年 3 月に設置した鉄塔

Q

今や携帯電話は、生活に密着した必需品である。三戸町携帯電話等エリア整備事業において、平成26年3月、不感地域の解消のため、町内4力所に移動通信用鉄塔施設を設置した。大舌地区の一部でいまだ解消されていないが、

A

竹原町長

携帯電話の不感地域の解消に当たっては、町単独事業のみならず、通信事業者の参加が不可欠であり、要望していきたい。

藤村副町長

不感地域において、町で鉄塔等の設置はできるが、

通信事業者が整備しなければ解消できない。

三戸黒毛和牛ブランドづくりを

Q

① 農家に野菜などの集約作物の栽培と畜産との複合経営を進め、農業の振興策を図っては。② 三戸黒毛和牛のブランドづくりに向けた畜産振興策は。

A

竹原町長

① 農家所得の向上には、付加価値の高い作物や高収益を見込める作物を複合経営により通年で出荷できる体制づくりが必要と考える。収益を上げるための経営指標を示すなど、農家所得の向上につなげていきたい。



三八地方畜産品評会のような

② 現在「三戸」とつく銘柄牛は、「三戸・田子牛」があり、三戸地方黒毛和種改良組合に対して支援を行い、肥育技術向上を推進していきたい。また、大平美智夫氏の「平安平（ひらやすひら）」が県内9頭目の青森県基幹種雄牛に指定された。これは三戸の畜産技術が高いことのアかしになるので、三戸・田子牛とあわせて周知に努めていく。

町の鳥「コノハズク」

保護対策は

Q

三戸町の鳥「コノハズク」をほとんど見ることのない状況で、三戸にすみ着く保護対策や呼び戻す可能性は。

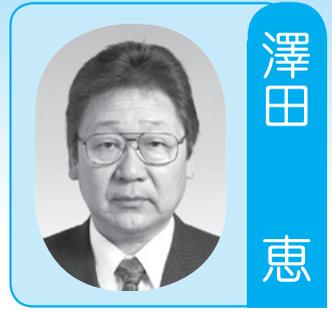
A

竹原町長

「コノハズク」を呼び戻すため、生息状況の情報収集に努め、生息可能な自然環境の維持、保全について検討していく。また、町の鳥「コノハズク」を多くの町民に再認識してもらうため、広報等を通じて関心を高めていきたい。

「コノハズク」

フクロウ目フクロウ科。全長20㎝。日本に飛来するフクロウ目では最小。森林に生息。昭和50年に三戸高校自然科学部が城山公園にかけた巣箱に営巢したことを確認。昭和52年6月6日に町の鳥として制定された。



認知症高齢者対策

町の対応状況は

竹原 町長 サポーターの養成を進め
見守り体制を強化していく

Q 急速な高齢化により、人口に占める高齢者の割合は高まっている。

- ① 本町の認知症高齢者数は。
- ② 認知症の相談窓口設置を。
- ③ 家庭看護の方法を啓発しては。
- ④ 認知症高齢者に関する老人保健事業の充実を。
- ⑤ 長、短期の保護施設設置を。
- ⑥ 家庭奉仕委員派遣制度を実施せよ。

A

竹原町長

- ① 要介護認定審査の添付書類である主治医意見書や認定調査書から判断すると815人である。
- ② 三戸町地域包括支援センターがその役割を担っており、体制強化のため、認知症地域支援推進員を配置した。



郵便局職員を対象にした認知症サポーター養成講座

- ③ 地域で支える体制づくりとして、平成23年度から認知症サポーター養成講座を開催し、660人の方がサポーターとなり、見守っている。
- ④ 多様な症状、状況に合った事業を提供している。
- ⑤ 平成12年に介護保険制度が導入され、利用者がさ

ービスを選択する形に転換している。急性期には、生命の危機から守るため入院治療を勧め、安定期には、グループホームへの入所や通所によりサービスを受けられるようになっていく。

⑥ ホームヘルパー、訪問介護員による訪問介護サービスが実施されている。

地場産業 有資源の開発意欲を

Q 農産物に価値を付加し、農家所得を向上させる方法について。

- ① 地域特性を生かした農産物をつくり、生産者と町が共同で特産物開発を。
- ② 野菜、果物の「すそも」を利用した加工品の開発を。

A

竹原町長

- ① 町では特産品開発として、「ミニふじ」の商品開発に取り組んでいる。また、「ガズミ」の栽培技術向上、新商品の開発など県に働きかけていく。生産者、消費者、行政が一体となり、「さんのへ



商品開発している「ミニふじ」

逸品」になり得る特産品づくりを推進していく。

② アイデア次第では大きな可能性のある分野である。資源を有効利用し、地場産業の振興を図る。

- ① 三戸町優良肉用牛導入事業での貸付頭数は。また、繁殖牛の減少を抑えるための対策は。
- ② 牛貸付事業の限度額60万円を超えた部分を自己負担にできないか。
- ③ 優良牛を地元に残し、次世代の改良に支障がないよう対策を。

A

竹原町長

- ① 貸し付けた牛は、平成19年度から26年度まで20頭あり、期間満了による譲渡は8頭である。繁殖雌牛不足と子牛価格高騰への対応として、県へ牛貸付事業基金の増額を要望する。
- ② 県要領において、上限額が60万円とする旨定められている。限度額引き上げを県へ要望していく。
- ③ 地域の優良牛保留に努めている。三戸町優良雌牛牛自家保留事業の要件について、次世代の改良資源を地域全体で協力して残していく観点から、地域保留についても検討していく。

肉用牛の振興を

Q

畜産農家の高齢化と後継者不足により素牛頭数が不足し、子牛価格の高値が続いている。

委員会調査レポート

議会には3つの常任委員会があり、議員はそのいずれかに所属しています。各委員会は、議会が閉会している間に担当分野について調査し、その結果を議会で報告します。

総務文教常任委員会

財務会計システムを設置し 事務の負担軽減を

◇6月4日、町内小中学校の管理運営状況について、教育委員と合同調査を行いました。



授業のようす（三戸小学校）



たのしい理科の実験（斗川小学校）



英語の授業で発音練習（杉沢小中学校）

事務の負担軽減を

- 〔調査箇所〕
- ・町内全小中学校

〔調査結果・意見〕
・小中一貫教育の導入により、1ギヤップ（小学校から中学校への進学がきつかけとなり、不登校になる現象）の低減が図られている。

各学校の要望に対する常任委員会の意見

学校名	教育委員会が検討事項としているもの	総務文教常任委員会の意見
三戸小学校 三戸中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計システム設置 ・学校安全情報配信システムの導入 ・学習センターエアコン設置 ・給食コンテナ搬入口屋根設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計システムの設置に必要な経費を試算し、事務の負担軽減を図るため、設置に向け努めていただきたい。 ・給食搬入口の屋根設置については、衛生上の配慮が必要。
斗川小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎外壁の塗装、亀裂修繕 ・敷地内のポプラ伐採 ・財務会計システム設置 ・照明スイッチ増設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポプラの伐採は、植樹した経緯等を踏まえ、伐採するか枝の整備のみにするか環境委員会と検討し、慎重な対応を望む。
杉沢小中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館の暗幕交換 ・I C T環境の整備 ・トイレの洋式化 ・プールサイドマット補修 ・ホール床コンセント修理 ・財務会計システム設置 ・水道メーター設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式化は、一度に全て対応となると予算上厳しいため、数回に分けて実施を。 ・プールサイドのマットは子どもたちに危険がないように対応を。 ・コンセント修理は、火事が発生しないよう対応していただきたい。 ・水道メーターの確認は、学校の負担をなくすようしていただきたい。

三戸町に合った 認定こども園に

◇6月1日、認定こども園への移行について、八戸市にある認定こども園2施設を子ども・子育て会議委員と合同で調査しました。



認定こども園八戸文化幼稚園



中居林こども園

〔調査箇所〕

- ・認定こども園八戸文化幼稚園
- ・中居林こども園

〔調査結果・意見〕

- ・2認定こども園では、特徴ある教育、保育目標を掲げ、保護者への制度説明を実施していた。
- ・幼稚園と保育園のよさを併せ持った認定こども園は、小学校へ

つながる教育、保育を行っているため、子どもと保護者の両方にメリットがある。

・三戸町の実態に合った認定こども園をつくれるのでは。

・三戸町で認定こども園を進める際は、保護者や子どもたちの不安を取り除くよう、施設整備内容の情報提供をしていただきたい。

建設農林常任委員会

パークゴルフ場 今秋完成予定

◇5月7日、町道等の整備状況、農産物の生育状況、パークゴルフ場の整備状況について、現地調査しました。

〔調査箇所〕

- ・町道整備（川守田関根川原地区、斗内丹内地区）
- ・平成25年台風18号災害復旧（川代地区、貝守老久保地区、貝守杉沢地区）
- ・リングゴ生育（泉山地区）
- ・ニンニク、葉タバコ生育（斗内折ヶ平地区）

・パークゴルフ場整備

〔調査結果・意見〕

・町道について、台風被害箇所の復旧など、適切に対応しており、良好に管理されている。

・農産物について、例年より良好に生育しているが、水不足が懸念される。

・パークゴルフ場は、面積約5ヘクタール、4コース36ホールを整備中であり、順調に進んでいる。



パークゴルフ場の整備状況調査



リンゴの生育状況調査

【請願・陳情の審査】

「最低賃金の大幅引き上げと中小零細企業支援の拡充を求める
請願書」 ↓不採択

「ゴミ収集に関する陳情書」 ↓採択

「泉山字木戸口地区の道路改良に
関わる陳情書」 ↓採択

「梅内字雷平地区の道路改良に
関わる陳情書」 ↓採択

議員研修会開催される

三村申吾知事

平成28年度重点施策語る



講師の三村知事

19項目について、知事より説明を受けた。

主なものとして、北海道新幹線開業により、青森県と道南を一体化した「津軽海峡交流圏」の形成や少子化対策として結婚・出産・子育てを切れ目なく支援する社会の実現、また、青森米のすばらしさをアピールし、売り上げ向上を目指すなどであった。

◇7月9日、県議長会主催による県下町村議会議員研修会が青森市民ホール（青森市）において開催され、当町議会議員が出席しました。
(演題)
「平成28年度重点施策提案について」
青森県知事
三村 申吾 氏
(概要)
平成28年度県の重点施策



会場のようす

アップルドーム の視察へ

◇5月12日、埼玉県戸田市議会市民生活常任委員会の皆さんが、スポーツ文化福祉複合施設「アップルドーム」開設の経緯や効果等を視察するため来町しました。



戸田市議会の皆さん

議会をネット配信しています

議会でおこなった議員の一般質問を、インターネットで配信しています。

町ホームページ内の議会コーナーへアクセスすると、質問と町の答弁のもようを視聴できますので、ぜひご覧ください。

(三戸町ホームページ)

<http://www.town.sannohe.aomori.jp/>

9月議会のお知らせ(予定)

9/1(火)・町長から議案説明
10:00～

9/3(木)・一般質問
10:00～ 議員が45分の持ち時間内で町の施策について質問します。

9/4(金)・一般質問(予備日)
10:00～ 議案審議、採決

9/7(月)・決算特別委員会
10:00～ 26年度の町の会計決算について審議します。

9/8(火)・決算特別委員会
10:00～

※9/2(水)、5(土)～6(日)は休会

開会予定日は**9月1日**です。

あとがき

今、国では「安全保障関連法案」をめぐる大議論が起きている。

我が三戸町では、終戦70年企画展「モノが伝えるー戦争の記憶ー」(7月18日～8月30日。城山公園内歴史民俗資料館)が始まった。その案内チラシには、私がか子どもの頃見たことのある、墨汁で黒く塗りつぶした教科書が載っていた。独特のニオイまでよみがえってきた。

三戸町在住の方が大切に保管していた数々の「モノ」が、私たちに語りかける声を、大人も子どもも一緒に語る機会になればと願う。私もこの「モノ」たちに会いに足を運びたい。

(梅田)

平成27年8月
議会広報編集委員会
委員長 坂本勝克
副委員長 梅田悦子
委員 北田敦
山口菊男
澤田衛
館